

## Cork Comfort Inspire 施工要領書

**注意：**本施工要領書は、製造メーカー（Amorim Revestimentos,S.A/ポルトガル）の施工要領書を基に、日本での施工を前提として書かれたものです。日本国内で施工される場合は必ず本施工要領書に基づき施工を行ってください。

### 1. 施工前保管方法・注意事項

- 材料は雨水に濡れないように保管してください。
- 歪みや破損を防ぐために輸送中や保管時は平置きにしてください。
- 施工にかかる一週間前には施工場所で開梱し、製品を現場の温度・湿度になじませてください。（現場適応）
- 最適な施工条件（施工前、施工中、施工後 48 時間まで）は室内温度 18℃～28℃、湿度 35～65%です。保管（現場適応）もその条件で行ってください。
- 傷が付かないように注意して搬入、保管してください。配送業者からの荷受け時に外損があった場合、その場で速やかに配送業者に連絡し、確認を取ってください。
- Cork Comfort Inspire は樹脂混合硬質コルクを芯材とし、表面と裏面に天然凝集コルクを使用した製品です。コルクは湿度、温度による影響で寸法変化する性質がありますので、その特性を良くご理解の上施工してください。

### 2. 下地

#### 下地に関して

- 下地はコンクリート及びモルタル下地、システムフロア、OAフロア、床暖房システムパネルに関わらず、必ず12mm以上の合板を捨て貼りの上、施工してください。
- 既存床（塩ビ、リノリウム・タイルカーペット・木製フローリング床等）の上には直接貼らないでください。特に踏むと沈むような弾力のある床材（塩ビ、リノリウム、タイルカーペット、遮音性フローリング）は必ず撤去の上、合板を捨て貼りし、施工してください。既存床が一般的な木製フローリングの場合は、その上に捨て貼り合板を貼った上で施工することもできます。その場合、あらかじめ木製フローリングの段差や床鳴りなどが無いように確認及び補正（ビス固定、段差削り等）をしてください。捨て貼り合板は既存フローリングと直交するように貼ってください。

#### ベニヤ合板捨て貼り下地施工

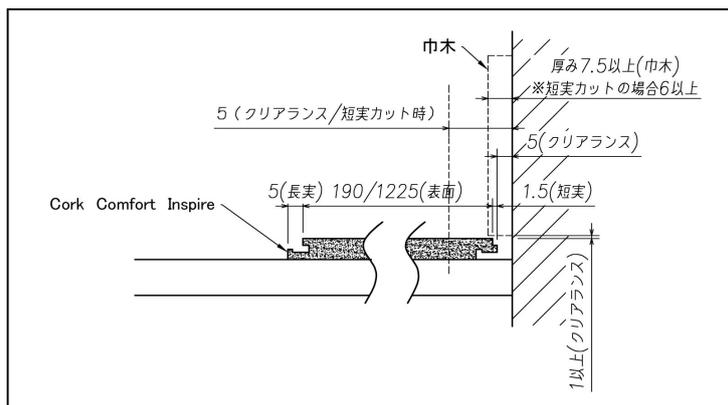
- ベニヤ合板（以下合板）は 12 mm以上のもので、タイプ 1（耐水性合板）・F☆☆☆☆相当を使用し含水率（10%以下）を確認して下さい。
- 合板は、Cork Comfort Inspire と直交するように、また合板の短辺が並ばないように貼ってください。（ウマ貼り）
- 合板捨て貼りは段差（不陸）が無いようにして下さい。  
不陸は2mで3ミリ以下でなおかつ滑らかにし、段差などは1ミリ以下にしてください。  
コンクリート下地でがたつきが大きい場合は、あらかじめモルタル補修やセルフレベルリングなどを行ってください。
- 合板は動かないようにビスなどで下地にしっかり固定してください。
- 良く固定しても合板が湿度膨張により動く場合がありますので、1ミリ以上の隙間を必ず設けてください。OAフロアやシステムフロアなどパーティクルボードの上に合板を施工する場合は、3～5ミリ程度隙間を開けてください。

- ・ 新設のコンクリート下地の上に合板を捨て張りする場合は、特に湿気の影響を受けますので、含水率が8%以下になるまで養生期間を取ってください。または、1 m x 1 mのポリシートか新聞紙でシールし、24時間経過させ、下地材面が変色しない事を確認してください。新設でない場合も、含水率が高い場合がありますので、必ず含水率を確認してください。
- ・ 新設のコンクリート下地や、湿気の上がりやすい下地環境の場合は合板の下に必ず0.1 mm以上の防湿シートを使用してください。
- ・ 捨て貼り合板を貼った後、Cork Comfort Inspire 施工前には必ず、床鳴りやキシミ、沈みがないか確認してください。

### 3. Cork Comfort Inspire施工に関する注意事項

#### クリアランス

- ・ 壁際には突きつけず、5ミリ以上のクリアランスを取り、6ミリ以上の巾木を使用して下さい。ただし、実の短い方も凸部（短実）があるため、カットしない場合は実質6.5ミリの隙間になります。その場合巾木は厚み7.5ミリ以上のものを使用してください。接着剤が硬化する前に温度や湿度変化によって延びる場合がありますので、現場適応期間を十分にとり、施工前、施工中から施工後48時間は環境温度・湿度（18℃～28℃、35%～65%）を極力一定に保ち、材料の動きが出ないように配慮してください。
- ・ 木製巾木の場合は、床仕上げ面から1ミリ以上のクリアランスを取ってください。



#### 直射日光

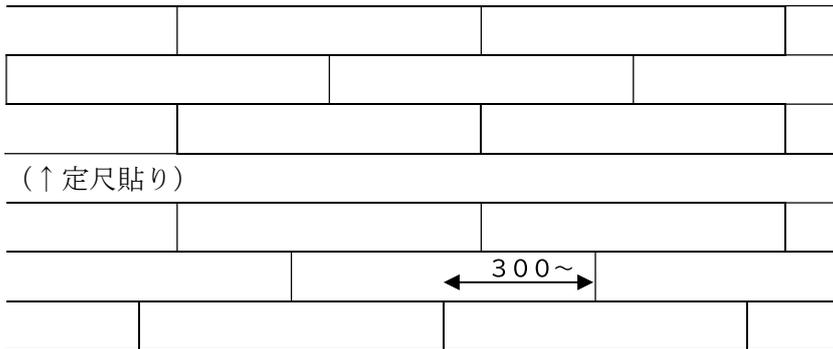
- ・ 施工中、窓際など直射日光が当たる部分は日照条件による温度差で、突き上げを生じやすいため、施工中は窓を目張りし、接着剤硬化後（施工後48時間後）、目張りをはずすようにしてください。

### 4. 施工前の確認事項

- ・ 施工前下地のキシミと床鳴り、不陸や段差、隙間、湿気や含水率。
- ・ 基準墨。
- ・ 床下からの湿気対策（防湿シート等）の確認
- ・ 材料の確認：発注品との仕様照合・数量・状態（傷・反り）・色柄
- ・ 現場状況の確認：材料の保管場と加工場 → 他の工事作業等との周囲確認・調整・現場監理者に確認  
内装との納まり部の確認、貼り方向、割り付けの確認 → 現場監理者に確認  
換気・電気 → 作業環境を整える。接着剤の揮発・結露・漏電・火気の注意  
室温・湿度 → 作業環境を整える。接着剤の効果確保・結露・湿気の注意  
（施工条件：室温18℃～28℃、湿度35%～65%）
- ・ 配色の確認：色柄の濃淡があります。必ず仮並べをして全体のバランスを確認して下さい。

・ 配置の確認：貼り方向・貼り方

流し貼り（定尺貼り、乱尺貼り）にて施工してください。



（↑ 乱尺貼り）※隣合わせの端部のずれは 300 ミリ以上とする

## 5. 施工手順

(ア) 清掃：施工前に床下地の表面のゴミ、ホコリ、油汚れ等を取り除きます。

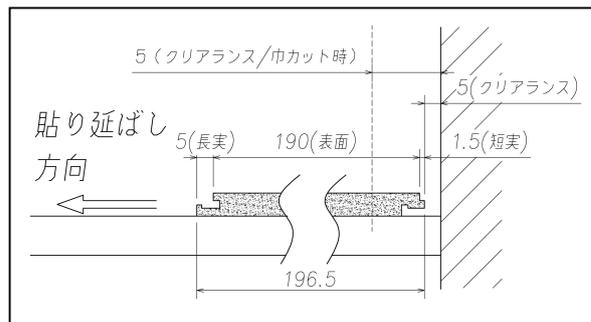
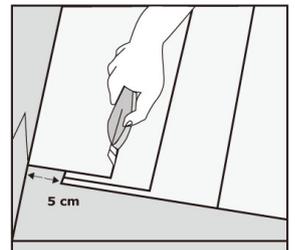
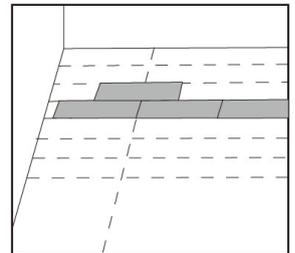
(イ) 前置き：貼り始めは部屋の右手角から貼り始めます。

(ウ) 裁断：丸鋸やノコギリ等でカットしてください。

(エ) 割付①：床材を貼る長さ方向と直交する方向（床材の中方向）の部屋の寸法を測り、貼り終わりの列の巾を確認してください。

貼り終わりの列の巾は50ミリ以上残るようにし、また、部屋全体のバランスを考えて割付をして下さい。壁際に5ミリのクリアランス（貼り初めの巾をカットしない場合、短実を含めると6.5ミリの隙間）を取る事も考慮して下さい。

調整が必要な場合は、貼りはじめの列の床材の巾（実が下向き、短実側）をはじめにカットしてください。※床材長辺に長実がついたもので貼り初めます



(オ) 割付②：次に、床材の長さ方向の部屋の寸法を測り、1列目の貼り終わりの長さ（部屋の左側）が300ミリ以上になるように確認し、必要に応じて貼り始めの1枚目の長さを、長実側を残すようにカットしてください。※床材短辺に長実がついたもので貼り初めます。

(カ) 基準墨：(エ) で巾をカットした場合は、長実を含むカットした残りの巾寸法（使用する材料の寸法）+クリアランス5ミリ、カットしない場合は実を含む製品の総巾寸法+5ミリの位置に、床材を貼る長さ方向に壁面と平行に最初の基準墨を引きます。

また、その線と平行に、3列目にあたる位置に基準墨を引きます。（最初の基準墨+製品の表面寸法 x 2 の位置=380ミリ）

(キ) 接着剤塗布：貼り初める床面（右手角）にくし目ゴテを使用して、ウレタン樹脂系接着剤を㎡あたり

500～600 g 均等に一回の作業範囲部分に全面塗布します。一回の作業範囲（接着剤塗布範囲）は、初めは2～3枚分くらいを目安に、作業に慣れて来たら徐々に範囲を広げて行ってください。

（推奨：KU928R：コニシ株式会社）

（ク）貼り始め：右手角から貼り始めます。

（エ）、（オ）で調整カットした辺（カットしない場合は、短実側の辺）が壁際に来ます。5ミリのクリアランスが維持できるようにスペーサー・くさびなどを使用して配置して下さい。

（ケ）2枚目以降：次の床材を最初の床材に対して斜めに持ち、短い実にしかりと押し付け、はまりを確認し、さらに押し付けながら床に平らに倒します。

2枚の長さ方向が、基準墨に合っているか確認してください。

接着剤を塗布しながら、同様に順次貼って行き、1列目最後の1枚は5mmのクリアランスを考慮したうえで壁に合わせて正確な位置に印をつけ、丸鋸などで長さをカットしてください。貼り終えた後、基準墨と比較し、1列が正確に直線に並んでいるか確認してください。

直線が確認できたら、金属ローラーやゴムハンマーで表面を強く押し（叩き）、良く接着させてください。

（コ）貼り込み2：次に2列目の右側に移動します。全体の貼り方（定尺、乱尺）を考慮した上で（オ）と同様に長さを300ミリ以上残しカットしてください。

1列目の最後の切残しが使用できる場合は使用しても構いません。

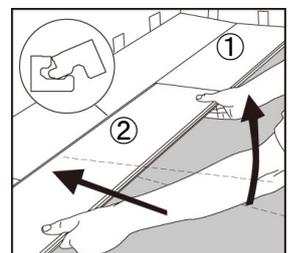
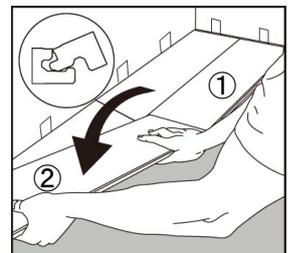
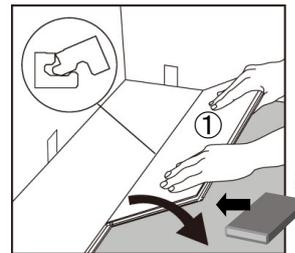
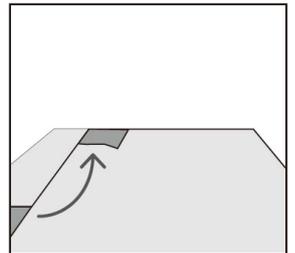
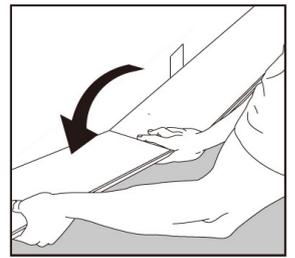
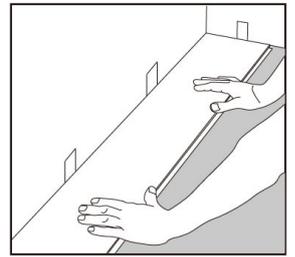
1列目の短い辺の接合部と、2列目の短い辺の接合部は300ミリ以上離れるようにしてください。

接着剤を塗布し、1列目の長い辺の長実にて、カットした材料①の短実を斜めに押し付け、倒しますが、この際接着した面に板がすべてつかないように、板の端材やくさびなどを手前から差し込み、次に貼る側の短辺の付近を少し浮かせておくと次の作業がスムーズになります。

つぎに、2列目初めの板の短辺に、新たな材料の短辺を斜めに押し付け、ロックが入っていることを確認しながら倒し、2枚の板①、②の手前を同時に少し（30ミリ程度）持ち上げながら、1列目の長辺に新たな材料②の長辺を押し付けながら倒していきます。押す角度を調整しながら行ってください。

この際も②の次に貼る側の短い実の付近に端材を差し込んでおくと作業がスムーズです。初めに①に挟んだ端材は、適宜抜いておき、抜いた後はローラー又はゴムハンマーで軽く押し付けてください。（列が完了したら強く押し付けてください。2列目以降、都度行ってください。）

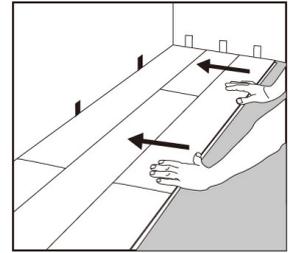
実の入り甘い場合は、ゴムハンマーなどで軽くたたいて調整してください。強引に叩いたり、実や板の角を直接強く叩くと表面や実を破損する恐れがあります。適度な力で行い、端部には当て木などを使用してください。



※若干（0.2～3ミリ程度）の隙間が空くように設計されています。

※表面に付着した接着剤は硬化する前に接着剤に対応する拭き取りシートや溶剤などできれいに取り除いてください。硬化後は溶剤を使用しても取れなくなりますので注意してください。溶剤や溶剤を含むシートは材料のツヤ変化などを起こす場合がありますので、事前に確認してください。

3列目まで上記の説明のように貼っていき、完了した時点で一度クリアランスと基準墨を確認し、必要があれば微調整してください。



(サ)貼りじまい：調整後、順次部屋の端まで貼って行って下さい。（必要に応じて、3列ごとに墨を打ち、確認しながら作業をしてください。）

最後の列は、5ミリのクリアランスを考慮した寸法で巾をカットし、実を固定し、ローラーやゴムハンマーで強く押し付け、完了です。浮きなどがある場合はくさびや仮くぎなどで接着剤が硬化するまで抑えてください。最後の列は、（エ）で確認したように、巾を50ミリ以上にしてください。

(シ)施工後の清掃：ホウキで切りくずなどを取り、掃除機で吸い取った後、乾いた雑巾やモップで細かい粉を取って下さい。石膏ボードの粉などが付着して取れない場合は、水で濡らして強く絞った雑巾などでふき取って下さい。目地や際に水がたまらないように注意してください。

(ス)養生の注意：

施工後24時間は歩行禁止としてください。

また、お引渡しまで床面に傷がつかないように養生ボードなどで養生をしてください。テープ類は製品表面を剥離させる場合がありますので、表面には直接貼らないで下さい。

養生期間が長い場合、特に窓際などは養生材の隙間から日焼けする場合がありますので、隙間がないように注意して養生してください。

## 6. メンテナンス

- ・ 本製品はワックスフリーですので、乾拭きや水拭き、床用クリーナー（中性洗剤）による清掃が中心となります。
- ・ 日常のメンテナンスは雑巾やモップで乾拭き、あるいは硬く絞ったモップなどで水拭きをして下さい。
- ・ 汚れのひどい所は固く絞った濡れ雑巾や水で薄めた中性洗剤（床用クリーナー等）で拭き取ってください。推奨：弊社取扱 BONA フロアクリーニングキット。
- ・ ポリッシャーによる洗浄はおやめください。

## 7. 床暖房

- ・ **Cork Comfort Inspire** 施工前に、必ず試運転し、稼働の確認をしてください。
- ・ 床暖房システムの上に12mm以上の合板を捨て貼りしてください。
- ・ 施工中～施工後1週間は運転しないでください。
- ・ 表面温度が28℃を超えないように注意してください。
- ・ 運転中の過乾燥に注意してください。
- ・ 室内が冷え切った状態から、高温で稼働させるような使用方法は避け、低温で徐々に温めてください。

## Cork Comfort Inspire お取り扱い上の注意

この度は、弊社製品をご使用いただき、誠にありがとうございます。

Cork Comfort Inspire は樹脂混合硬質コルクを芯材とし、表面と裏面に天然凝集コルクを使用した製品です。Cork Comfort Inspire の美しさを長く保つためには、ご使用に当たって下記事項を必ず守って下さい。

- ・ 本製品はワックスフリーです。乾拭きや水拭き、クリーナーによる清掃にて美観を保ってください。日常のメンテナンスは雑巾やモップで乾拭き、あるいは硬く絞ったモップなどで水拭きをして下さい。
- ・ 汚れのひどい所は固く絞った濡れ雑巾や水で薄めた中性洗剤（床用クリーナー等）で拭き取ってください。推奨：BONAフロアクリーニングキット。
- ・ ポリッシャーや水拭きができるタイプのロボットクリーナーによる洗浄はおやめください。
- ・ 水周りなど、水がかかりやすい箇所では、目地や端部に水が滞留しないようにしてください。目地などから下地に水分が入り、カビや変色、変形、においなどの原因となる場合があります。吸水性のマットなどを使用してください。
- ・ 土足でご使用の場合、出入り口付近には必ず足ふきマットを敷き、砂利や泥・水分の侵入を防いでください。
- ・ カーペット、玄関マットの固定の為に床に貼ったテープなどを不用意に剥がすと、塗膜を損傷することがありますので注意して取り除いてください。また、裏面がラテックスやゴム製の場合は使用しないでください。
- ・ 冷蔵庫やピアノのように重い物は長期間の設置により凹みを生じる場合があります。板を敷いて重量を分散させて下さい。
- ・ 傘や先の尖った器物の持ち込みは、床損傷の原因になりますので避けて下さい。
- ・ 書棚、整理棚などの位置の微調整は棚の中の荷物が入ったままですらすらではなく、中の荷物を一旦だしてから棚を持ち上げて移動するようにして下さい。
- ・ 家具や椅子が床と接する面にはフェルトや柔らかいゴムキャップなどを付け、また出来るだけ引きずらないようにすることで傷を防ぐことが出来ます。また、キャスター付きの椅子や家具を使用すると、床材の表面へこみや傷、表面剥がれが生じる恐れがありますので、キャスターマットを敷いてください。
- ・ ホットカーペット・温風ヒーター・ストーブ等の使用は熱により、変形などの原因となります。その場合、一般的な断熱性のシートを敷いて熱を和らげてご使用下さい。
- ・ 窓際など直射日光が長時間当たると、日焼けによる変色が起き、絨毯やカーペットを敷くと色違いの原因となりますのでご注意ください。また、劣化が生じやすくなりますので、直射日光はカーテンやブラインドなどで遮ってください。
- ・ 床暖房をご使用になられる際は、表面温度が 28℃を超えないようにしてください。また、室内が冷え切った状態から高い温度設定で作動させるような使用方法は避け、低温で徐々に温めるか、冬季は連続的に稼働させるようにしてください。
- ・ コルク素材を使用しているため、環境湿度に応じて収縮し、隙間が大きくなる事や膨張し、突き上げる場合があります。使用される最適な室内湿度環境は、35%～65%です。乾燥、過湿にご注意の上、状況に応じて加湿器や空調、除湿器などで室内の湿度を調整してください。

エーディーワールド販売株式会社

東京都港区西新橋 3-23-6

[TEL:03-5405-1125](tel:03-5405-1125)

<http://ad-world.co.jp/>

**B0A0BA**